

シリーズ～神の国～

2013/8/18

不公平な国

マタイ福音書20章1～16節

「天の国は次のようにたとえられる。ある家の主人が、ぶどう園で働く労働者を雇うために、夜明けに出かけて行った。主人は、一日につき一デナリオンの約束で、労働者をぶどう園に送った。また、九時ごろ行ってみると、何もしないで広場に立っている人々がいたので、『あなたたちもぶどう園に行きなさい。ふさわしい賃金を払ってやろう』と言った。それで、その人たちは出かけて行った。主人は、十二時ごろと三時ごろにまた出て行き、同じようにした。五時ごろにも行ってみると、ほかの人々が立っていたので、『なぜ、何もしないで一日中ここに立っているのか』と尋ねると、彼らは、『だれも雇ってくれないのです』と言った。主人は彼らに、『あなたたちもぶどう園に行きなさい』と言った。夕方になって、ぶどう園の主人は監督に、『労働者たちを呼んで、最後に来た者から始めて、最初に来た者まで順に賃金を払ってやりなさい』と言った。

そこで、五時ごろに雇われた人たちが来て、一デナリオンずつ受け取った。最初に雇われた人たちが来て、もっと多くもらえるだろうと思っていた。しかし、彼らも一デナリオンずつであった。それで、受け取ると、主人に不平を言った。『最後に来たこの連中は、一時間しか働きませんでした。まる一日、暑い中を辛抱して働いたわたしたちと、この連中とを同じ扱いにするとは。』主人はその一人に答えた。『友よ、あなたに不当なことはしていない。あなたはわたしと一デナリオンの約束をしたではないか。自分の分を受け取って帰りなさい。わたしはこの最後の者にも、あなたと同じように支払ってやりたいのだ。自分のものを自分のしたいようにしては、いけないか。それとも、わたしの気前のよさをねたむのか。』このように、後にいる者が先になり、先にいる者が後になる。」

ぶどう園の労働に雇われた人たち

- × **夜明け, 9時, 12時, 3時, 5時**
 - + 「広場」には仕事を求める人たちが集まっていた
 - + 夕方になっても「誰も雇ってくれない」人たちがいた
- × **賃金の契約は**
 - + 夜明け: 「1日1デナリオン」, 9・12・3時: 「ふさわしい賃金」, 5時: ?
- × **全員に等しく支払われた賃金, 1デナリオン**
 - + 1デナリオンは標準的な1日の賃金
 - + 1時間しか働かなかった人も1日中(12時間?)働いた人も同じだった

主人に文句を言った人たち

- × **最初に雇われた人たちが主人に不平を言った**
 - + 『最後に来たこの連中は、一時間しか働きませんでした。まる一日、暑い中を辛抱して働いたわたしたちと、この連中とを同じ扱いにするとは。』
- × **主人は、約束通りにしただけだ、と述べた**
 - + 『友よ、あなたに不当なことはしていない。あなたはわたしと一デナリオンの約束をしたではないか。自分の分を受け取って帰りなさい。わたしはこの最後の者にも、あなたと同じように支払ってやりたいのだ。自分のものを自分のしたいようにしては、いけないか。それとも、わたしの気前のよさをねたむのか。』

人の国の常識

- × 働いた分に応じて報われなければならない
 - + 働きが多ければ多く報われ, 少なければ少ない
- × 苦労は報われるべきである
 - + 自分より楽をして儲けている人に腹が立つ!
- × 自分が納得できるように扱われることが「公平」である
 - + 納得できなければ不平を言う
 - + 十分に貰っていたとしても…

神の国の常識

× 神は誰に対しても公平である

+ 「あなたがたの天の父の子となるためである。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからである。」 5:45

× 神の愛と恵みはすべての人に等しく与えられる

+ わたしたちの功績によらない

× 夜明けから働いた人:ユダヤ人,1時間働いた人:異邦人

+ 功績は100%イエス・キリストにある

× 「人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、ただキリスト・イエスによる贖いの業を通して、**神の恵みにより無償で義とされるのです。**」ローマ3:23-24

人の国は公平なのか？

× 不公平な世界

- + 豊かな国－餓死者が続出する国(17人/1分)
- + 安全な地域－生きていくことが大変な地域
- + 自由に働ける地域－戦いの最中にある地域
- + 公平な国－差別や階級制度のある国……

× 正しく報われない世界

- + 清く正しく生きている人が無病息災・商売繁盛か？
- + 命がけの努力が報われないことも多い

人の国の生きる神の子

- ✖ **不平を言わないことが神の国に生きている証拠**
 - + 「**何事も、不平や理屈を言わずに行いなさい**。そうすれば、とがめられるところのない清い者となり、よこしまな曲がった時代の中で、非のうちどころのない神の子として、世にあって星のように輝き…」フィリピ 2:14-15
- ✖ **人と比べるのではなく、神に喜ばれることを求めて生きよう**
 - + 「後にいる者が先になり、先にいる者が後になる」
 - + **人の国の法則は神の国では通用しない!**